

立替経費精算の実態調査結果から考える

立替経費はなくすことができる！？ 経費精算を大きく効率化する方法

交際費や会議費、交通費をはじめ、

出張時の宿泊費、備品の購入費などとして発生する立替経費。

立替経費の精算には、経理部門と経費を立て替えた従業員の双方にかかる業務負担、

法制度の改定によって追加された対応など、改善すべき課題が散見されます。

立替経費精算に関する調査結果を交えながら、

業務を大きく効率化する新しいアプローチを紹介します。

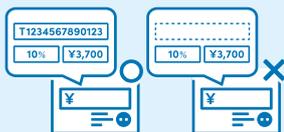


1社当たり平均1500件／月も発生 経理担当者の負担が大きい立替経費精算

従業員の銀行口座への振込や小口現金管理、担当者間のやりとりなど、
立替経費精算にはさまざまな対応が伴います。
月々の発生件数も多く、経理担当者にとって大きな業務負担となっています。

経理担当者が感じている課題

TOP3



適格請求書の要件を
満たすかどうかの確認に
手間がかかる

35.0%



月末月初など
特定の時期に
業務が集中してしまう

33.3%



不備発生時の確認や
差し戻しに
手間がかかる

31.1%

(n=657 複数回答)

その他の回答

処理する件数が多く業務負担が大きい	30.9%
立替払いのための現金管理や従業員への支払いに手間がかかる	24.0%
電子帳簿保存法の要件を満たした保存に手間がかかる	22.8%
従業員に証憑を提出してもらうためのリマインドに手間がかかる	18.7%
従業員による経費不正利用のリスクがある	10.7%
在宅勤務ができない	9.3%

出典: Sansan株式会社「経費精算に関する実態調査」(2024)

経理担当者の課題が見えてきた一方で、
経費を立て替える従業員も課題を抱えているのでしょうか。

経費を立て替えている従業員にとって、 手間の多さや金銭的な負担が課題になっている

立替経費精算に伴う業務を負担に感じているのは、経理部門だけではなく、営業部門や総務部門など、経費を立て替えている従業員も、さまざまな課題を抱えていました。

非経理担当者が感じている課題



非経理担当者

(営業部門・総務部門など)

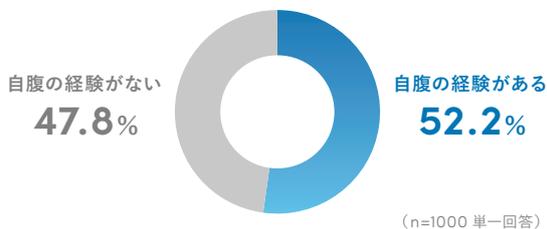
立替分が入金されるまでに タイムラグがある	40.6%	費用を立て替える負担が大きい	26.4%
申請のための処理が煩雑	38.1%	原本を紛失した場合 自腹で経費を支払わなければならない	22.0%
インボイス制度で確認の手間が増えた	33.3%	特にな	21.4%

(n=318 複数回答)

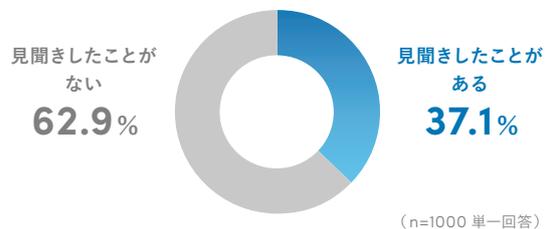
出典:Sansan株式会社「経費精算に関する実態調査」(2024)

従業員の自己負担や不正利用に関する課題も明らかに

Q 経費を立て替えたものの、精算申請をせずに
自腹で経費を支払った経験はありますか。



Q あなたの会社において、社員が経費を
不正利用した噂を見聞きしたことがありますか。



出典:Sansan株式会社「経費精算業務に関する実態調査」(2024)

経理部門だけでなく、多くの従業員が不満を感じている
立替経費精算の課題は解決できないのでしょうか。

経費精算システムを利用していても 立替経費精算には多くの課題が残されている

多くの企業が何かしらのシステムを使って対応しているにもかかわらず、
立替経費精算という領域には、たくさんの課題が残されています。
また、インボイス制度の対応といった新しい課題も生まれています。

従来の立替経費精算



インボイス制度の開始に伴って発生した新たな対応の例

記載事項の確認と検算



適格請求書に必要な項目が
記載されていることを確認する。
また、必要な項目の金額を検算する

登録番号の照会



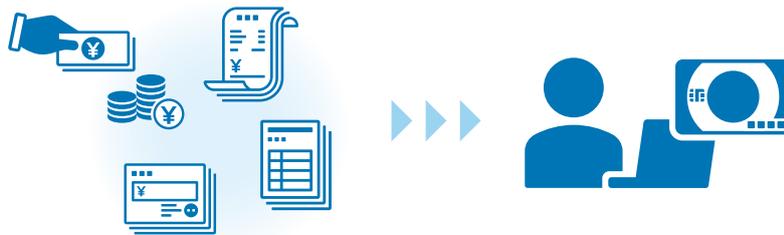
適格請求書に記載された登録番号と
事業者の氏名または名称が
一致することを確認する

多くの課題が残り、新たな課題も増えている中で、
立替経費精算の課題を解決する方法はないのでしょうか。

これまでにない経費精算を実現する Bill One 経費

Bill One 経費は、「立替経費をなくす」という考えに基づいて設計されたクラウド経費管理サービスです。
これまで従業員が立て替えていた経費の支払い方法を専用のカードに変えることで、
企業から立替払いそのものをなくし、これまでにない経費精算を実現します。

Bill One 経費の特長

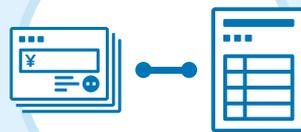


経費の立替払いをなくせる

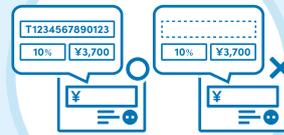
全社員が Bill One ビジネスカードを使って経費を支払うことで、
企業から立替経費をなくしていくことができます。



99.9%*の精度で
領収書をデータ化



領収書とカード明細の
金額を自動で突合



適格請求書の要件を
自動判定

* Sansan 株式会社 が規定する条件を満たした場合のデータ化精度

立替経費がなくなっていくことで、
どのようなメリットが得られるのでしょうか。

経理部門に限らず企業全体で、 それぞれにメリットを得ることができます

立替経費精算に関する課題の根本にある立替経費をなくしていくことで、
経理部門だけでなく、経費を使う全従業員の業務が大きく効率化されます。
さらに、従業員だけでなく、企業経営にもメリットをもたらします。



経理部門

従業員の銀行口座への振込作業がなくなる

小口現金管理が不要になる



従業員

立替払いによる一時的な金銭負担がなくなる

経費の自己負担を考える機会がなくなる



企業

振込手数料のコストを削減できる

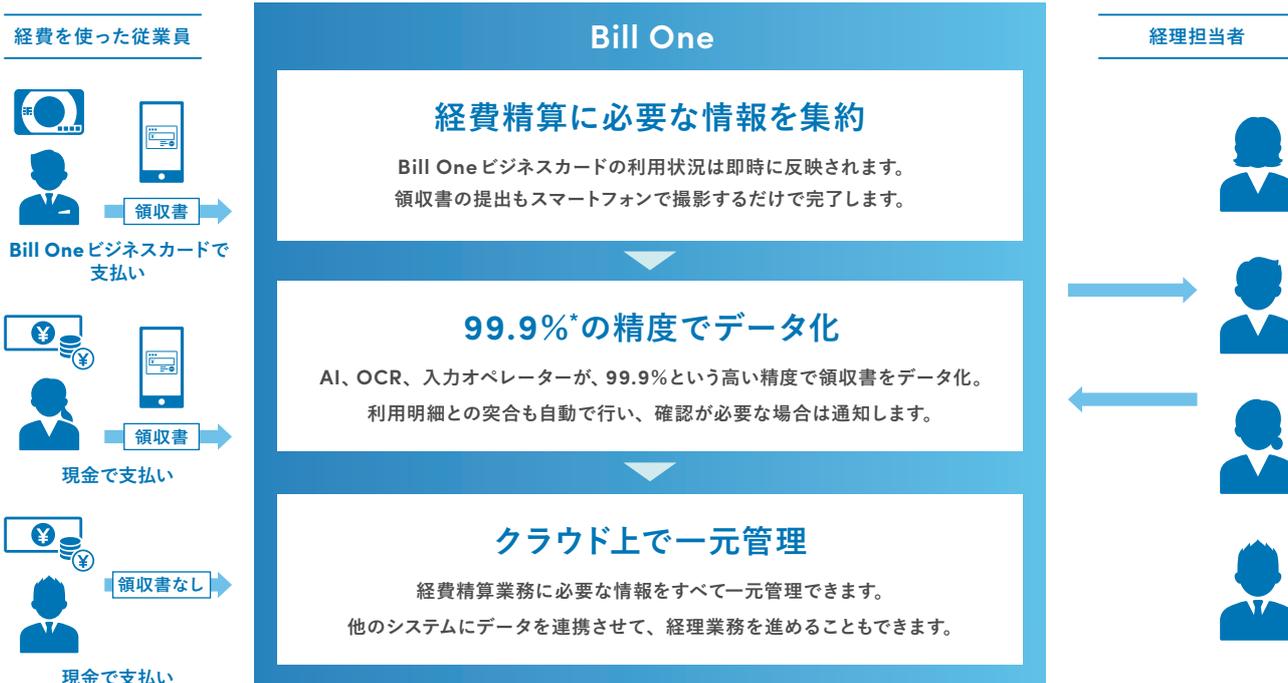
経費が不正利用されるリスクを軽減できる

これまで解決されなかった経費精算に関する課題を解決し、
大きく業務を効率化することができます。

立替経費をなくし、月次決算を加速する

Bill One 経費

Bill One 経費は、専用のビジネスカードで立替払いをなくし、
これまでにない経費精算を実現するクラウド経費管理サービスです。
多くのアナログな対応が発生している経理業務の課題を解決し、企業の月次決算を加速します。

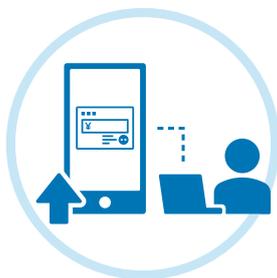


* Sansan 株式会社が規定する条件を満たした場合のデータ化精度

3つのメリット



経費の立替払いをなくせる



オンラインで経費精算を完結できる



法対応と業務効率化を実現

Bill One
powered by Sansan

お問い合わせ | デモ依頼やお見積りについては、お気軽にお問い合わせください

bill-one@sansan.com

0800-100-9933

<https://bill-one.com>

Sansan株式会社 [本社] 〒150-6228 東京都渋谷区桜丘町1-1 渋谷サクラステージ28F

※ 本資料は2024年11月に作成されました。掲載されている内容は作成時点での情報です。
※ 本資料の記事・写真等の無断転載、複写、複製を禁じます。

© Sansan, Inc.